

ひまわり

令和4年度第3号
山鹿市立大道小学校
令和4年6月3日発行
文責：校長 池田 功

子どもたちの感想
応援団長（赤団田中渉くん、白団宮脇慎太郎くん）の感想、野満悠雅くん、運動会閉会式の「終わりの言葉」を紹介します。

力を出し切った運動会

赤団 団長 田中 渉

五月二十九日（日）の運動会は、天気恵まれ、運動会テーマ「心は一つ あきらめない」に向けてのまんばりや、保護者の皆様の応援のおかげで笑顔あふれる一日になりました。
子どもたちは、五月の暑さに耐え、毎日練習に取り組みました。一日一日と子どもたちの表現、走力等はもちろんですが、運動会を成功させたいという気持ちの高まりを感じました。その気持ちの高まり、意気込みのおかげで、練習の成果を十分に発揮してくれました。
保護者の皆様には、運動会に向けての毎日の検温、子どもたちの体調管理、PTA愛校作業での環境づくり、前日準備、当日の係と支えていただきました。ありがとうございました。



5・6年生表現「未来のストーリーを描こう」

運動会当日は、今まで注意されてきたことや、教えてもらったことを思い出しました。応援合戦では、全力で声を出し、堂々と動くことができました。保護者の皆さんが、笑ってくれたり、大きな拍手をしてくれたりしたので、今まで練習してきたことが、よかったので、優勝することができました。
最初は、最初は人の前に出て話をするのが苦手でした。しかし、団長になって話すことができるようになりました。それは、みんなのまんばりに負けたくないという話そうと思っただけです。小学校最後の運動会で、自分の力を出し切ることができて、思い出に残る運動会になりました。

運動会テーマに向かって

白団 団長 宮脇 慎太郎

ぼくは、白団の団長をして運動会テーマ「心は一つ あきらめない」努力 挑戦の先に「笑顔をも」を意識しながら、みんなをまとめることができたのでよかったです。最初はみんなに教えることが、難しくて不安になることもありましたが、それを乗り越えて、運動会で成功できたのでよかったです。

です。そして、みんなに教える時に、自分の考えていることを、大きな声ではっきり伝える事の大切さを学びました。テントで、応援団だけが声を出しているのと、白団の全員が声を出すのでは、盛り上がり方が、ぜんぜん違うと思いました。そこで、運動会だけでなく、学校生活でも協力する事が大切だと改めてわかりました。
五・六年生の表現では、とても練習をして、一番の運動会で、多くの拍手をいただいていた、一生懸命取り組んでよかったと思います。他の学年の表現や団体競技を見ても、他の学年のみんなが練習をがんばってきたことが伝わってきました。

ぼくたち応援団も、毎日朝と昼の練習を一回も休むことなく続けることができました。応援団練習では、四・五年生の応援団員に教えたりやってみせたりすることは難しかったけれど、みんながついてきてくれてしっかり覚えてくれたので、うれしかったです。優勝することはできなかったけれど、友達から「すごかったよ。」と言われた応援団長になって、よかったと思います。

この経験で、目標に向かってがんばること、協力して何かをやりとげること、そして、何事にも挑戦し、最後まであきらめないことの大切さを学びました。

いよいよ運動会が終わろうとしています。ぼくは、今やりとげた気持ちでいっばいです。運動会のテーマにもあったように、みんなの心が一つになっていったと思います。一年生から六年生まで、今日まで毎日練習をがんばっていました。そして、今日みんな練習の成果を精一杯出し切りました。ぼくにとっても、最後の運動会でした。応援団になり、朝も昼休みも練習して、声がかれるぐらいがんばりました。大変でしたが、がんばることは、楽しいことだと今思っています。挑戦してよかったです。今日まで一生懸命教えてくださった先生方、応援してくださったおうちの皆さん、本当にありがとうございました。

運動会は終わりますが、これからも大道小学校は、子どもも先生方もおうちの方も地域の方も「心は一つ あきらめない」で

終わりの言葉

六年 野満 悠雅

運動会が終わりますが、これからも大道小学校は、子どもも先生方もおうちの方も地域の方も「心は一つ あきらめない」で

笑顔でがんばっていきましょう。
これで、令和四年度大道小学校運動会を終わります。

子どもたちのまんばり！



1・2年生表現



3・4年生表現



5・6年生表現



1・2年生表現



3・4年生表現



5・6年生表現

応援団の練習、各学年の表現で、何度も練習を繰り返して、本番では見事な発表を見せてくれました。子どもたちの一生懸命にがんばる姿、挑戦する姿に感動しました。これからも、子どもたちの笑顔が見られる行事に取り組んでいきます。保護者の皆様、地域の皆様、ご協力をお願いいたします。